

News & Information

2012/ 1/ 1

〔年始のご挨拶〕

明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災により被災された皆様には心よりのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げますとともに、年頭にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

当社株主の皆様におかれましては、当社株式が昨年8月に上場廃止になったことにより大変なご迷惑をお掛けいたしました。改めまして深くお詫び申し上げますとともに、株主の皆様より賜りました格別のご高配に対し厚くお礼申し上げます。

当社は、このような環境下、中核である創薬事業において実りの多い年となりました。主力パイプラインである特発性肺線維症治療薬としてのPC-SOD（吸入製剤）の開発が順調に進展し、第I相臨床試験が間もなく終了を迎え本年4月を目途に日韓共同で第II相臨床試験を開始する予定です。また、昨年7月の韓国製薬企業とのライセンス契約締結は、世界的な注目を集めております。

このほか、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業に採択されているステルス型ナノ粒子PGE1製剤は前臨床試験に向けた基礎研究が進んでおります。さらに、副作用の少ないNSAIDは国内製薬企業と共同で基礎研究を開始し、ドラッグリプロファイリング（DR）研究に関しましても、複数の特許を出願するなど創薬事業に邁進いたしております。

当社は、ライセンスアウトによる製薬会社との共同研究や公的助成金活用による保有パイプラインの充実を経営方針として早期の収益確保に注力しておりますが、販売費および一般管理費の削減につきましても積極的に実施してまいりました。昨年3月に営業を停止したEIP事業を営む子会社・マシンパーツ販売は、解散・清算手続中で、これにより当社決算を連結財務諸表の適用から外し経費を削減いたします。更に、本年2月に開催予定の臨時株主総会で資本金の減少および株主名簿管理人の廃止にかかる定款変更を株主の皆様にお諮りし、税負担軽減等による経費削減を徹底して参ります。

今後とも当社は、病気で苦しむ患者様に早期に新薬をお届けするという理念のもと、経営資源を創薬事業に集中し、全社一丸となって医薬品開発を推進させることで株主の皆様のご期待に沿えるよう役職員一同尽力して参ります。

株主の皆様におかれましては、本年もご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長 水島 徹
代表取締役社長 大塚 秋夫